



ADRC Highlights

Vol.113

Asian Disaster Reduction Center Biweekly News

1 April 2005

➤ インドでの津波被災地の調査を実施

2004年12月26日にインド洋に面する国々の海岸を襲った未曾有の大津波から、3ヵ月が経過しました。インドでは、タミールナドゥ、ケララおよびアンドラ・プラデシュの各州、及びポンディチェリー連邦政府直轄区で、数千人が亡くなり、生活基盤や経済に甚大な被害を受けました。死傷者は10,000人を越え、未だ5,000人が行方不明となっています。2005年3月2日から4日にかけて、当センター主任研究員の角崎がタミールナドゥ州およびポンディチェリー連邦政府直轄区の被災地を調査しました。

インドの津波被害に対する救援活動は、国家レベルの中心組織としては内務省、州および直轄地区レベルでは救援委員会、地方では自治区により、効率的に調整されています。このような救援活動を行っているのは政府だけではなく、国連機関、地元の組織や住民、NGO、また、私企業なども被災地の必要性に応じています。現在、公共施設の再建、インフラ設備の修復、船舶の移動、被災者の健康管理などの短・中期的復旧・復興活動が調整・実施されていますが、被災地全ての完全な復興までに課題は依然として多く、長期的復興計画も作成途中です。

当センターによる今回の調査では、内務省、タミールナドゥ州の救援部長、カッタロールの区長、ポンディチェリーの救援部長をはじめ様々な関係者の方から協力をいただきました。

なお、この件につきましては、角崎 (tsunozaki@adrc.or.jp) までお願いします。



海洋へ移動される船
(タミールナドゥ州カッタロール)



タミールナドゥ州政府が供給した仮設住宅

➤ 環インド洋津波早期警戒メカニズム構築に向けた国連ハイレベル政策対話ミッションの開催

2005年2月22日～24日、アジア防災センター(ADRC)は、2004年12月26日に発生したスマトラ島沖地震・インド洋大津波をうけて、「環インド洋津波早期警戒メ

カニズム構築に向けた国連ハイレベル政策対話ミッション」を国連国際防災戦略事務局(UN/ISDR)と協力して実施いたしました。

これは、インド洋沿岸諸国の次官級行政官を対象にしたミッションで、インド洋地域に津波早期警戒メカニズムを構築するに当たり、津波対策に関する長年の知見と経験を有する日本の事例を共有し、関係各国間で政策対話を行うことを目的として開催されました。

参加招請国は、インドネシア、マレーシア、タイ、ミャンマー、バングラデシュ、インド、スリランカ、モルディブ、ケニア、タンザニア、セーシェルの11カ国で、各国の防災担当の準閣僚・次官級や、在京大使館の大使・公使クラスの内計19名が参加しました。国連教育科学文化機関/政府間海洋学委員会(UNESCO/IOC)をはじめ、国際津波情報センター(ITIC)、世界気象機関(WMO)、太平洋津波警報センター(PTWC)の他、日本サイドも参加し、津波防災対策に関する様々な講義を受けた後、静岡県沼津市の現地視察と今後の環インド洋津波早期警戒メカニズム構築にむけた意見交換を行いました。

なお、この件につきましては、中村 (nakamura@adrc.or.jp) までお願いします。

➤ アジア最新災害情報

□ インドネシア・スマトラ島沖の地震

2005年3月28日夜(現地時間)にインドネシアのスマトラ島沖でM8.7(米国地質調査所(USGS))の地震が発生しました。ニアス島を中心に大きな被害が出ています。

2005年3月29日付国連人道問題調整事務所レポートNo.3によりますと、ニアス島での犠牲者数は、500人以上と報告されており、今後さらに増える見込みです。また、公共事業省の報告によると、ニアス島首都グアンシトリ及び南ニアス地区のトルクダレムの建物の80パーセントが被害を受けています。これについては、当センターホームページの最新災害情報 www.adrc.or.jp をご覧ください。GLIDE番号は、EQ-2005-000053-IDNとなっています。

➤ お知らせ

□ ADRC 芳永管理課長と羽鳥主任研究員が異動

同センターの芳永和之管理課長ならびに羽鳥友彦主任研究員が、2005年3月末をもって、それぞれ派遣元へ戻ることになりました。2005年4月1日より、

芳永課長は兵庫県庁防災企画局企画課に、羽鳥主任研究員は、株式会社パスコ海外事業部へ異動となりました。また、同日付で、長野公一と村田昌彦がそれぞれ、同センターの管理部長および研究部参事国際復興協力担当に着任しました。

If you have comments or requests for this Newsletter, please write to ADRC at the address on the right.

Published by : Asian Disaster Reduction Center (ADRC)
Hitomiraikan 1-5-2-5F, WAKIHAMAKAIGAN-DORI, CHUO-KU, KOBE
651-0073, JAPAN E-mail: editor@adrc.or.jp Phone: +81-78-262-5540